

Bearing innovation  
Material innovation

Advancement to  
Lubrication systems  
**Lubrication  
System**

Environmentally  
-friendly components

**Plain bearing**

**System Parts**

Production Equipment  
for manufacturing  
innovation

**Die,  
Equipment**

**Seals**

High performance  
Sealing components

**Tribology**

## CONTENTS

連結業績ハイライト／株主の皆様へ  
中期経営計画(2013-2015)の推進

- 信頼されるグローバル企業を目指して

「VISION 2020」策定

- 更なる成長を目指して

決算概要

株式概況／会社概況

# 第109期 期末報告書

2014.4.1～2015.3.31

証券コード 6470



**大豊工業株式会社**

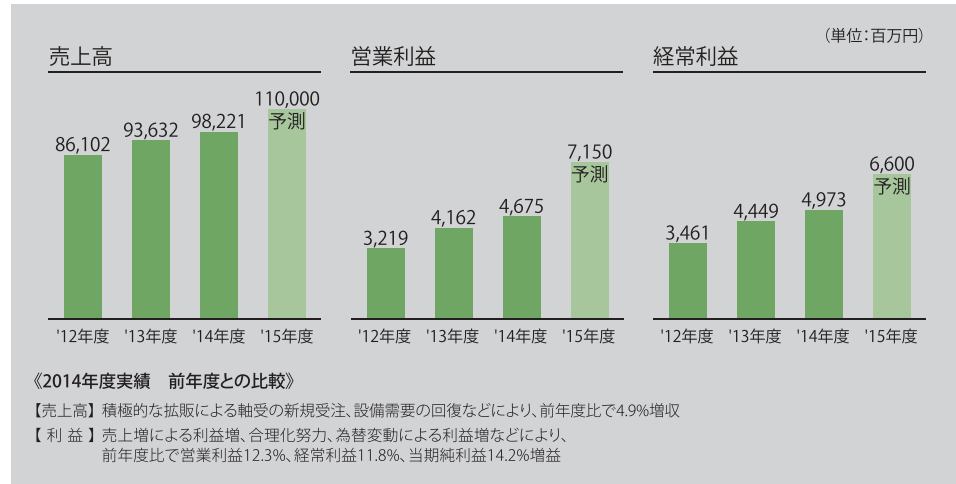
# 連結業績ハイライト

## ■ 2014年度実績

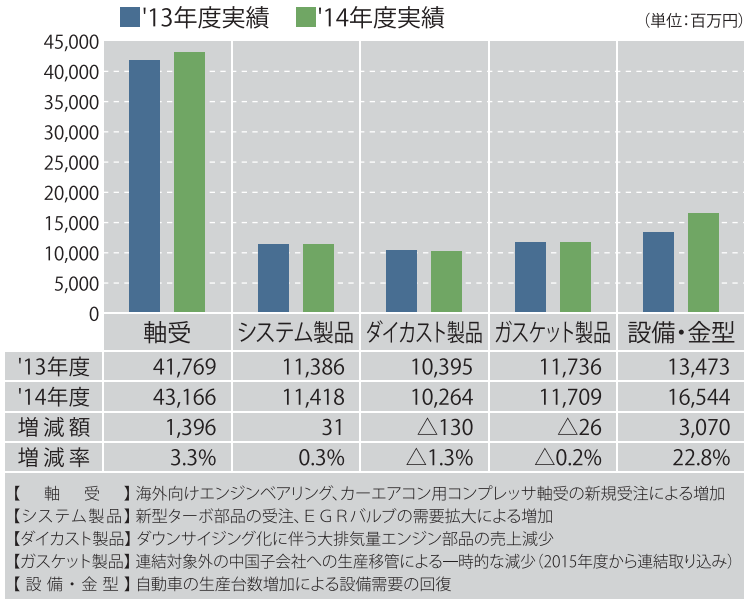
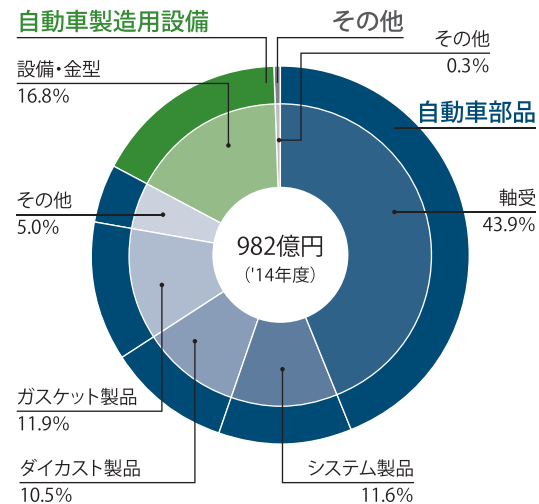
売上高 982億円  
 営業利益 46億円  
 経常利益 49億円  
 純利益 31億円

## ■ 2015年度予測

売上高 1,100億円  
 営業利益 71億円  
 経常利益 66億円  
 純利益 42億円



## ■ 事業別売上高



# 株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第109回定時株主総会およびその後の取締役会の決議を受けまして、代表取締役社長に選任されました。

当社の持続的成長に向けた活動に知恵を絞り、精一杯努力していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

## 【2014年度 実績】 軸受の新規受注の増加により、増収増益を確保

2014年度、世界経済は米国では景気が順調に回復する一方、タイの政情不安や新興国景気の減速など不透明な状況がありました。国内経済は消費増税による落ち込みから徐々に持ち直し、緩やかな景気回復を維持しています。自動車市場は、国内消費増税による一時的な販売台数の減少はありましたが、米国や中国での販売台数の増加が下支えとなり世界市場全体は好調に推移しています。

軸受およびシステム製品の新規受注、設備需要の回復などに支えられて増収増益を確保し、売上高982億円(前期比4.9%増)、営業利益46億円(同12.3%増)、経常利益49億円(同11.8%増)、当期純利益31億円(同14.2%増)を確保しました。

## 【2015年度 通期見通し】 新製品のスムーズな立ち上げと生産性向上により、「2013-15年度中期経営計画」の目標を達成する

2015年度、国内では新設計軸受、海外では北米で樹脂コーティング軸受、タイでバキュームポンプおよびディーゼル用ガasket、インドネシアで新工法軸受など新たな生産ラインの立ち上げが続き、生産数量の増加が見込まれます。これらの確

実な立ち上げを行うと同時に、継続して全社全部門での合理化・生産性向上活動を進めます。これらの活動により、2013年4月に公表した「2013-15年度中期経営計画」最終年度目標の売上高1,100億円、営業利益71.5億円を達成し、過去最高の業績を目指します。

## 【将来に向けて】 トライボロジーをコアに、軸受をはじめとした環境に貢献する製品を迅速に生み出し、グローバルにお客様へお届けする

グローバルな自動車市場は新興国を中心に拡大を続けるものと期待されます。その対応として、新興国市場での価格競争力確保と地球環境保全のための新製品提供の重要性が、より高まっていくと認識しております。

この環境変化をビジネスチャンスとして捉え、当社グループ一丸となり持続的成長を図るため、2013年3月に「2013-2015年度中期経営計画」を策定しました。この中期経営計画の最終年度である今期を確実に成し遂げ、次期中長期計画のスタートにつなげられるよう一層取り組みを加速させてまいります。

## 「創意と工夫」「絶えざる改善」「チームワーク」で、「信頼の大豊」の持続的成長を図る

当社は昨年12月に創業70周年を無事に迎えることができました。これもひとえに株主様をはじめとするステークホルダーの皆様を支えられた結果だと思えます。これまで以上に創業の精神である「信頼の大豊」を旨とし「創意と工夫」「絶えざる改善」「チームワーク」で新製品の開発や工法を革新して、モノづくりの競争力を高め、お客様の信頼に応えます。昨年策定した「VISION 2020」に沿って、国内市場の縮小、海外事業の進展、新製品の立ち上げなどの課題を乗り越え、「信頼の大豊」の持続的成長を図ります。

株主の皆様には、引き続き、ご支持・ご鞭撻をお願い申し上げます。

2015年6月  
 代表取締役社長 杉原 功一



プロフィール	
1980年3月	東京大学工学部 卒業
4月	トヨタ自動車工業(株)(現トヨタ自動車(株))入社
2009年6月	同社常務役員 同社上郷工場工場長 同社下山工場工場長
2012年4月	同社生産技術本部 副本部長
2013年4月	同社ユニット生産技術領域 領域長
2014年6月	当社代表取締役副社長
2015年6月	当社代表取締役社長

中期経営計画の中間年度である2014年度は、製品と生産の両面で多くの施策を実施し、「VISION 2015」実現の布石を打つことができました。一方、「VISION 2020」を新たに策定し、次世代に向けた取り組みも始めました。

## 1.新製品の量産開始

環境対応エンジンへの採用が増加している樹脂コーティング軸受R Aシリーズでは、新工法による量産を2014年5月より開始し、価格競争力を強化しました。

また、耐摩耗性に優れた新コーティング材料RCシリーズの量産を同年12月に開始、エンジンの低燃費化と高性能化に貢献しています。

過給ダウンサイジングエンジンに対しては、ターボチャージャ用軸受、ウェイトゲート用アクチュエータ、当社独自のアルミダイカスト製法を用いたエ

ルボ、ブレーキブースタに用いるバキュームポンプの量産を同年5月から開始しました。

カーエアコン用コンプレッサ軸受では、新構造の軽量シューの量産をTCK(韓国)で、同年12月から開始しました。

## 2.生産能力増強と拠点整備

TCT(タイ)では、2014年2月に完成したプラチンプリ工場において、2015年2月からバキュームポンプの量産を開始しました。

日本ガスケット株式会社では海外生産能力を増強するため、YNG(中国)の

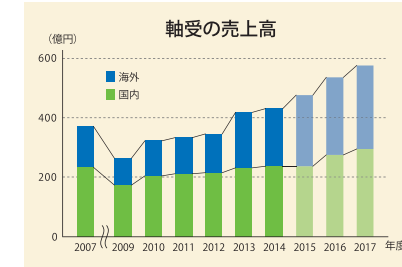
工場を拡張し、同年4月からガソリン用シリンダヘッドガスケットの量産を開始しました。また、TNG(タイ)では、ディーゼル用シリンダヘッドガスケットの量産を同年2月から開始しました。

国内においては2015年4月から、金型業務を大豊精機株式会社に集約し生産・販売力を強化しました。

## 3.新規顧客への拡販

2009年以降の拡販活動により、国内外で軸受の売上を着実に伸ばしています。

また、バランスウェイトを新規顧客から受注し、売上を拡大しました。



ムポンプ、TNGでディーゼル用シリンダヘッドガスケットの量産が本格化します。

また、TCA(北米)で6月から樹脂コーティング軸受、PTN(インドネシア)では、7月にエンジンベアリングの新工法ラインでの量産を予定しています。

これらを着実に進めるとともに、新しい設計思想のエンジンベアリングを2015年度中に市場へ投入する予定です。この製品を潤滑システム立ち上げの端緒と位置付けています。

## 4.2015年度の主な展開

中期経営計画の最終年度である2015年度、目標達成に向けて着実に新製品を立ち上げていきます。

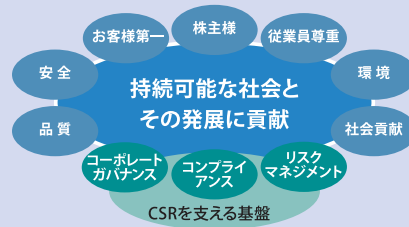
4月以降、タイでは、TCTでバキュー

## 「VISION 2015」ロードマップ



## 会社方針書に「CSR方針」を掲載

CSRの推進を図るため、今までの諸活動を包含する形で「CSR方針」としてまとめました。



## 福利厚生施設の充実

創業70周年記念事業の1つとして、独身寮を拡充し2014年4月より運用を開始しました。

また、同時に進めてきた託児所「T-Kids」を2015年4月に開園しました。社員が安心して仕事に集中できる環境が整い、優秀な女性人財の確保につなげることを目的としています。



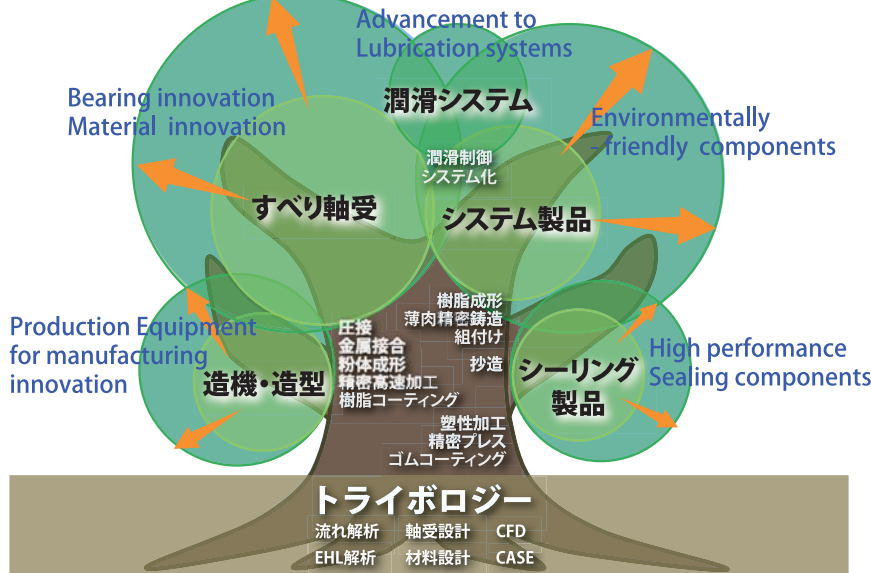
## 「VISION 2020」

「VISION 2015」に続く「VISION 2020」を策定、その目標を「多様な製品群で地球環境とお客様に貢献する」と掲げ、今まで以上に環境対応技術の革新に主眼を置きます。これにより、グループ全体の持続的成長を目指します。



## 「VISION 2020」-----多様な製品群で地球環境とお客様に貢献する

### VISION 2020イメージ



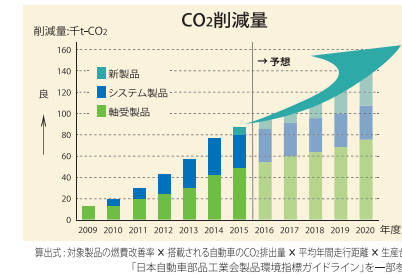
球環境とお客様に貢献する」と掲げ、今まで以上に環境対応技術の革新に主眼を置きます。これにより、グループ全体の持続的成長を目指します。

## 「VISION 2020」における技術革新

### ◆2020年 製品ビジョン

当社のコア技術であるトライボロジーを木の根とし、幹となる製造・生産技術をさらに太く成長させ、すべり軸受、システム製品、シーリング製品、造機・造型製品などの果実を着実に増やしていきます。

軸受ではエンジンベアリング、トランスミッション用軸受、カーエアコン用コンプレッサ軸受などを継続して拡大させるとともに、その技術を潤滑へと拡張、「潤滑システム」の開発を強化していきます。



システム製品ではバキュームポンプや排気制御装置を中心に強化し、軸受と並ぶ製品基盤に育てていきます。

同時に、これらの当社製品の環境貢献度を明確にするためにCO2削減効果を見える化していきます。

## グループ企業の役割拡大

### ◆シーリング製品

日本ガスケット株式会社が生産するガスケットに関しては、クリーンディーゼルをはじめ、さまざま環境対応エンジンへの最適設計を目指すとともに、品質・コスト面においてもグローバル

な視点で競争力を高めます。

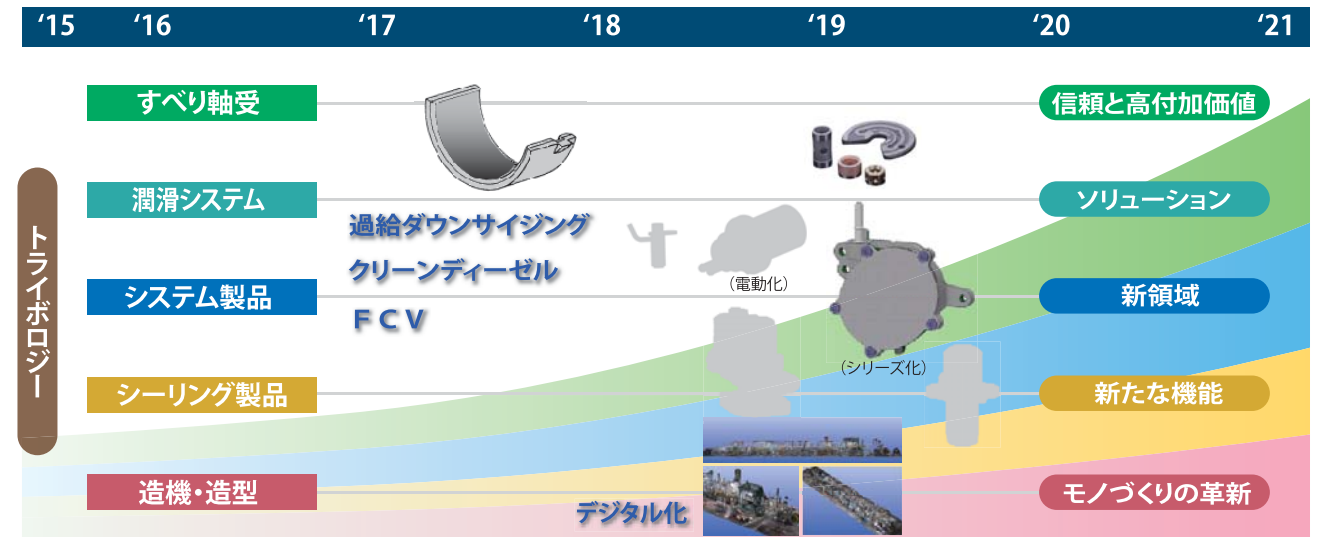
また、シール材料技術を応用して、新たな機能を持った付加価値の高い製品開発を進めます。

### ◆造機・造型

大豊精機株式会社を中心とした設備事業は、「次世代のモノづくり」を視野に「シンプル・スリム・エコロジー」を推進します。

また、アナログ(実体)データと新規設計のデジタルデータを統合したシミュレーションを駆使し、スピーディーでムダの無いの設備づくりを目指します。

## 「VISION 2020」ロードマップ



# 決算概要

## 連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当連結会計年度末 2015年3月31日現在	前連結会計年度末 2014年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>46,408</b>	<b>49,935</b>
現金及び預金	12,885	18,916
受取手形及び売掛金	17,855	16,907
たな卸資産	9,435	8,551
繰延税金資産	1,406	1,424
その他	5,051	4,336
貸倒引当金	△ 226	△ 200
<b>固定資産</b>	<b>57,536</b>	<b>51,062</b>
有形固定資産	49,718	44,282
建物及び構築物	12,549	10,670
機械装置及び運搬具	15,718	13,853
土地	13,434	13,339
建設仮勘定	6,470	5,109
その他	1,545	1,309
無形固定資産	1,505	1,459
投資その他の資産	6,311	5,320
<b>合計</b>	<b>103,944</b>	<b>100,997</b>

【流動資産】当連結会計年度末における流動資産の残高は46,408百万円であり、前連結会計年度末に比べ3,526百万円減少しております。現金及び預金の6,030百万円の減少、受取手形及び売掛金の948百万円の増加、たな卸資産の883百万円の増加、電子記録債権の379百万円の増加が主な要因であります。

【固定資産】当連結会計年度末における固定資産の残高は57,536百万円であり、前連結会計年度末に比べ6,474百万円増加しております。建物及び構築物の1,879百万円の増加、機械装置及び運搬具の1,864百万円の増加、建設仮勘定の1,361百万円の増加、投資有価証券の790百万円の増加が主な要因であります。

科目	当連結会計年度末 2015年3月31日現在	前連結会計年度末 2014年3月31日現在
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>28,478</b>	<b>28,477</b>
支払手形及び買掛金	13,838	12,730
短期借入金	361	836
未払費用	4,892	4,380
その他	9,386	10,530
<b>固定負債</b>	<b>17,460</b>	<b>18,552</b>
長期借入金	14,301	16,382
退職給付に係る負債	1,854	958
その他	1,304	1,211
<b>負債合計</b>	<b>45,938</b>	<b>47,029</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>53,517</b>	<b>51,566</b>
資本金	6,479	6,440
資本剰余金	9,948	9,909
利益剰余金	37,280	35,408
自己株式	△ 191	△ 191
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>3,642</b>	<b>1,717</b>
その他有価証券評価差額金	1,521	942
為替換算調整勘定	2,597	878
退職給付に係る調整累計額	△ 475	△ 103
<b>新株予約権</b>	<b>69</b>	<b>41</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>776</b>	<b>641</b>
<b>純資産合計</b>	<b>58,006</b>	<b>53,967</b>
<b>合計</b>	<b>103,944</b>	<b>100,997</b>

【流動負債】当連結会計年度末における流動負債の残高は28,478百万円であり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加しております。支払手形及び買掛金の1,107百万円の増加、設備未払金の839百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金の1,651百万円の減少が主な要因であります。

【固定負債】当連結会計年度末における固定負債の残高は17,460百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,091百万円減少しております。長期借入金の2,081百万円の減少、退職給付に係る負債の896百万円の増加が主な要因であります。

【純資産】当連結会計年度末における純資産の残高は58,006百万円であり、前連結会計年度末に比べ4,038百万円増加しております。利益剰余金の1,872百万円の増加、為替換算調整勘定の1,718百万円の増加、その他有価証券評価差額金の578百万円の増加が主な要因であります。

## 連結損益計算書

単位:百万円

科目	当期連結累計期間 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	前期連結累計期間 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>98,221</b>	<b>93,632</b>
売上原価	80,654	77,132
販売費及び一般管理費	12,892	12,337
<b>営業利益</b>	<b>4,675</b>	<b>4,162</b>
営業外収益	703	767
営業外費用	405	479
<b>経常利益</b>	<b>4,973</b>	<b>4,449</b>
特別利益	41	52
特別損失	138	50
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>4,876</b>	<b>4,451</b>
法人税、住民税及び事業税	1,354	1,632
<b>法人税等調整額</b>	<b>304</b>	<b>△ 95</b>
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>3,217</b>	<b>2,914</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>23</b>	<b>117</b>
<b>当期純利益</b>	<b>3,194</b>	<b>2,796</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当期連結累計期間 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	前期連結累計期間 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>8,858</b>	<b>7,605</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 8,940</b>	<b>△ 7,408</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 5,301</b>	<b>4,673</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	243	282
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 5,140</b>	<b>5,153</b>
現金及び現金同等物の期首残高	17,852	12,698
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>12,711</b>	<b>17,852</b>

## 年間配当金

2015年4月27日開催の取締役会において、2015年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対して行う期末配当金につき、次のとおり決議しました。

### ① 期末配当金

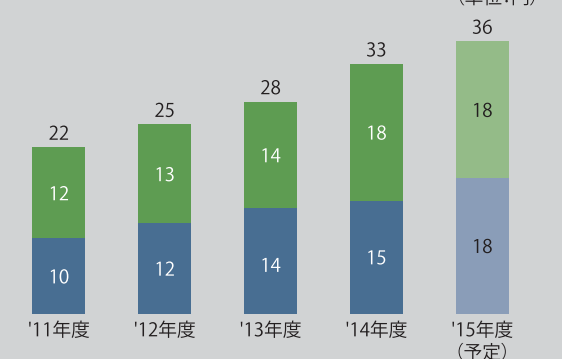
1株につき18円

### ② 効力発生日ならびに支払開始日

2015年6月11日

### 1株当たり年間配当金

■ 中間配当金 ■ 期末配当金



株主の皆さまへの利益還元と事業の成長および経営基盤の強化のための内部留保を総合的に勘案し、長年にわたり安定的な配当の継続を基本に考えています。

期末配当金は1株につき18円とし、年間としましては、前期と比べ5円増配の1株につき33円とさせていただきます。

# 株式概況 (2015年3月31日現在)

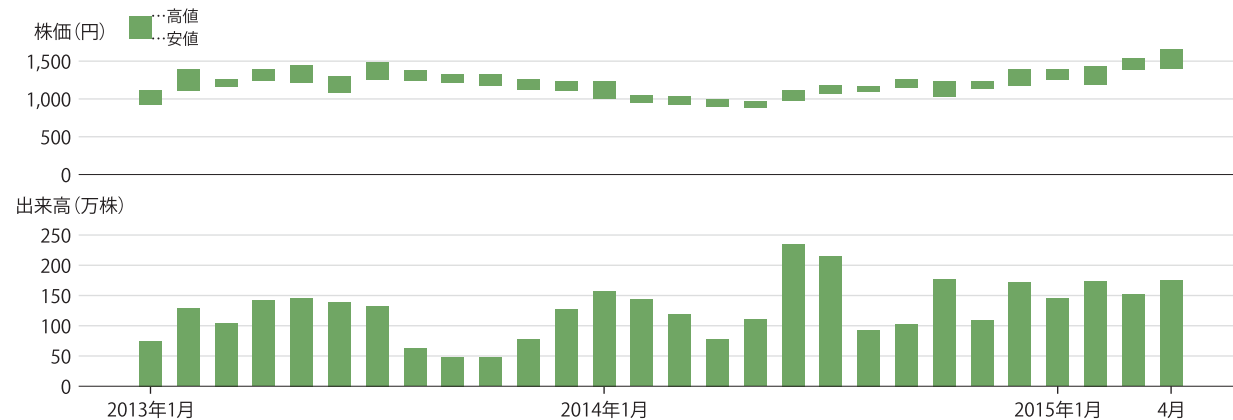
## 株式の状況

発行可能株式総数	48,400千株
発行済株式の総数	28,842千株
株主数	4,205名

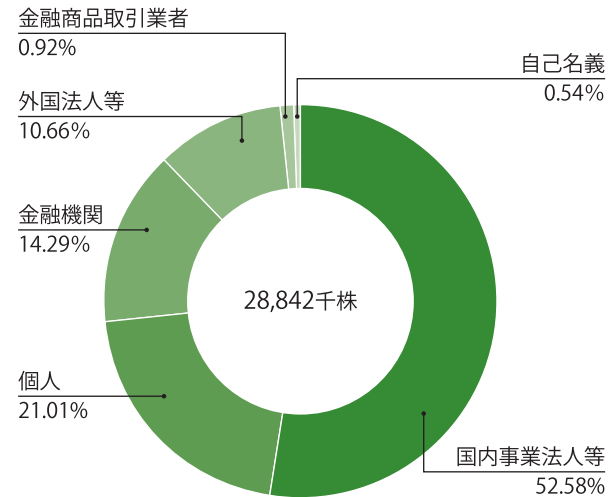
### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	834
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	801
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	506
大豊工業従業員持株会	451
野々山秀夫	305
柴田幸子	256

## 株価の推移



## 所有者別株式分布状況



# 会社概況 (2015年3月31日現在)

## 会社概要

創 業 1944年12月  
 資 本 金 64億7千9百万円  
 従 業 員 数 連結:3,950名 単体:1,630名  
 本社所在地 〒471-8502  
 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65  
 TEL (0565) 28-2225 (代表)  
 事 業 内 容 軸受および軸受素材、ダイカスト製品、  
 ガasket製品、システム製品、設備、  
 金型などの製造販売

## 事業所および営業所

本社/本社工場(愛知県豊田市)  
 細谷工場(愛知県豊田市)  
 篠原工場(愛知県豊田市)  
 九州工場(鹿児島県出水市)  
 幸海工場(愛知県豊田市)  
 東京営業所(東京都中央区)  
 大阪営業所(大阪府大阪市)

## 国内子会社

大豊精機株式会社(愛知県豊田市)  
 日本ガasket株式会社(愛知県豊田市)  
 大豊岐阜株式会社(岐阜県可児郡御嵩町)  
 株式会社ティーイーティー(愛知県春日井市)  
 株式会社タイハウライフサービス(愛知県豊田市)  
 株式会社タイハウパーツセンター(岐阜県土岐市)

## 主な海外子会社

タイハウ コーポレーション オブ アメリカ(アメリカ)  
 タイハウ ヌサンタラ株式会社(インドネシア)  
 タイハウ コーポレーション オブ ヨーロッパ 有限会社(ハンガリー)  
 韓国大豊株式会社(韓国)  
 大豊工業(煙台) 有限公司(中国)  
 タイハウ コーポレーション オブ タイランド(タイ)  
 常州恒業軸瓦材料有限公司(中国)

## 取締役 (2015年6月10日現在)

代表取締役社長 杉原 功一  
 代表取締役副社長 村井 茂  
 代表取締役副社長 近藤 隆彦  
 専務取締役 川上 真也  
 専務取締役 楠 隆博  
 取締役 木村 好次

## 監査役 (2015年6月10日現在)

常勤監査役 佐藤 章雄  
 常勤監査役 神谷 莊司  
 監査役 白柳 正義  
 監査役 杉山 雅則  
 監査役 安田 益生

## 執行役員 (2015年6月10日現在)

常務執行役員 原田 淳  
 常務執行役員 川治 豊明  
 常務執行役員 河合 信夫  
 常務執行役員 佐藤 光俊  
 常務執行役員 高間 建一郎  
 執行役員 大河内 光人  
 執行役員 吉井 利治  
 執行役員 岸 吉信  
 執行役員 出崎 亨  
 執行役員 粟津 滋喜  
 執行役員 杉木 明

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	<a href="http://www.taihonet.co.jp/">http://www.taihonet.co.jp/</a>

## ● 株式関係のお手続きについて

1. 株式関係のお手続きにつきましては、お取引先の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株につきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



お問い合わせ先 TEL (0565) 28-2225 (代) 総務部広報室